



公民館

図書室だより

5月

更科公民館
2022/5/1

新刊図書案内



北海道での介護職を辞し、憧れの東京で病院事務の仕事に就くも、非正規雇用ゆえに窮を極める29歳女性・リキ。「いい副収入になる」と同僚のテルに卵子提供を勧められ、たらいながらもアメリカの生殖医療専門クリニック「プランテ」の日本支部に赴くと、国内ではめられていない〈代理母出産〉を持ち掛けられ.....
桐野 夏生/著

燕は戻ってこない

老いの福袋

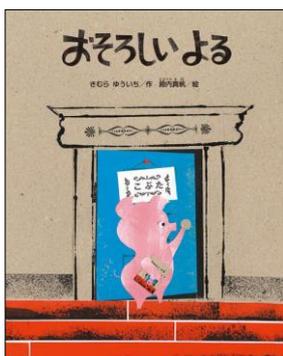


老年よ、大志を抱け、サイフも抱け！ 88歳のヒグチさんの日常は初めてづくしの大冒険。トイレ閉じ込め事件から、お金、働き方、人づきあい、介護、終活問題まで、人生100年時代を生きる人に勇気を与える「知恵とユーモア」が詰まったエッセイ。「見果てぬ夢を見るのは、老人の特権です。未来を夢見て、夢を語れば、きっとその夢を継いでくれる人が現れます。自分たちの子や孫、そのまた子どもたちがより幸福に生きられるように。老人たちよ、おいに夢を見ようではありませんか」
樋口 恵子/著

子ども向け

おそろしいよる

(4~5歳向け)



しーんとしずまりかえったよるに、こぶたが おうちで たったひとり本(ほん)をよんでいると、パッとでんきがきえてあたりはまっくら。そのとき、ギギギ〜と、ドアが開(ひら)いてだれかが歩(ある)きまわる音(おと)が…。これは 夢(ゆめ)? それとも、どきどき、わくわく想像力(そうぞうりょく)をかきたてられる1冊(さつ)です。

きむら ゆういち/作
殿内 真帆/絵

マンガで学ぶSDGs 1
自然環境が危ない!

(小学校高学年・中学生向け)



2030年に向けて世界の解決すべき課題を17に分けた、世界共通の目標であるSDGsをマンガで学べます。1巻は環境問題や気候変動に関連する「生物圏」、2・3巻は、わたしたち人間がより豊かな暮らし営むための目標に関連する「社会圏」、4巻は働きやすさや差別、偏見に関連する「経済圏」を取り上げています。

蟹江 憲史/監修

公民館図書室のご利用について

《利用時間のお知らせ》

- ・開室時間 9時45分～17時
- ・休室日 毎月第3木曜日 ☆5月は19日の木曜日
年末年始12月29日(木)～1月3日(火)
※その他、点検等による休室日がございます。

《ブックポストへの本・雑誌の返却》

- ・朝は9時～9時45分、夕方は17時～21時
- ・第3木曜日(休室日)は、9時～21時です。

ただし、CD・DVD・ビデオ・カセットテープ・紙芝居は、ブックポストには返却できません。また、他市の資料についても、すべて窓口への返却をお願いします。

千葉市図書館の利用案内です

資料の種類	借りられる数	予約できる数	貸出期間
本・雑誌・紙芝居	10冊まで	10冊まで	2週間まで 借りられます
ビデオ・DVD	2点まで	4点まで	
CD	2点まで	4点まで	
カセットテープ	2本まで	4点まで	

※ビデオ・DVD・CD・カセットテープは、中学生以上が利用できます。

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

千葉市若葉区更科町2254-1
図書室 電話 043-239-0508





本屋大賞

全国の書店員が「いちばん! 売りたい本」を選ぶ2022年本屋大賞の候補作10点が決まり、4月6日に大賞が発表されました。

大賞は、『同志少女よ、敵を撃て』著者/逢坂冬馬 でした。

以下が、順位と本の紹介です。お好きな本がありましたら、読んでみてください。



『赤と青とエスキース』著者/青山美智子
メルボルンの若手画家が描いた、一枚の「絵画(エスキース)」。日本へ渡って30数年、その絵画は「ふたり」の間に奇跡を紡いでいく……。二度読み必須の仕掛けに満ちた、青山美智子さんの傑作連作短篇集。

2位



『正欲』著者/朝井リョウ
不登校の息子がいる検事・啓喜。初めての恋に気づいた女子大生・八重子。一つの秘密を抱える契約社員・夏月。ある人物の事故死をきっかけに、それぞれの人生が重なり合う。その繋がりとは、「多様性を尊重する時代」にはひどく不都合なものだった――。

4位



『硝子の塔の殺人』著者/知念実希人
雪深き森で燦然と輝く硝子の塔に、刑事、霊能力者、小説家、料理人などのゲストたちが招かれた。だがその館の主人が毒殺され、ダイニングで火事が起きたりと惨劇が続く。さらに、死体の血文字で記された十三年前の事件……。その謎を解くべく、名探偵・碧月夜と医師の一条遊馬が立ち上がった。散りばめられた伏線に隠された、驚愕のラストとは――。

8位



『同志少女よ、敵を撃て』著者/逢坂冬馬
1942年、独ソ戦の最中。モスクワ近郊の村に住む狩りの名手セラフィマは、ドイツ軍の襲撃により日常を奪われた。母を殺された復讐を誓うセラフィマは、女性狙撃小隊に入隊しスターリングラードの前線に立つ――。

大賞



『黒牢城』著者/米澤穂信
「本能寺の変」の四年前。織田信長に反旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、ある難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人で織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めるも……。
「直木賞」受賞作!

9位



『星を掬う』著者/町田そのこ
小学一年生の夏休み。母と二人で旅をして、私は母に捨てられた。ラジオ番組の賞金ほしさに、千鶴は過去の思い出を投稿した。それを聞いた母の「娘」を名乗る恵真との出会いをきっかけに、母・聖子と再会し同居することになった千鶴だが、母の姿は千鶴の記憶する姿ではなく――。

10位



『残月記』著者/小田雅久仁
近未来の日本、悪名高き独裁政治下。世を震撼させている感染症「月昂」に冒された男の宿命と、その傍らでひっそりと生きる女との一途な愛を描いた物語。「月」をモチーフにした異世界に足を踏み入れたら最後、もう現実には戻れない――。

7位



『夜が明ける』著者/西加奈子
現代日本に存在する貧困、虐待、過重労働……。まだ光は見えない。それでも僕たちは夜明けを求めて歩き出す。思春期から33歳になるまでの男同士の友情と成長、変わりゆく日々を生きる奇跡とは。

6位



『スモールワールドズ』著者/一穂ミチ
夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。「秘密」を抱えて出戻ってきた姉とふたたび暮らす高校生の弟。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。人知れず手紙を交わしつつける男と女。向き合うことができなかった父と子。大切なことを言えないまま別れてしまった先輩と後輩。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。

3位



『六人の嘘つきな大学生』著者/浅倉秋成
成長著しいIT企業「スピラリンクス」の最終選考。最終に残った六人が面接に臨む中、六通の封筒が発見される。そこには、六人それぞれが過去に犯した「罪」が発露されていた――。犯人は誰か? 究極の心理戦がスタートする。

5位